

しきいしみち かやのとうげ くるさわとうげ
コース33 敷石道の萱野峠・黒沢峠

リーダー CL T/K SL T/H
 実施日 平成30年 9月16日(日)
 天候 曇り グレード B
 参加者 25人 (男性 6 女性19)

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
荻川駅東口		6:20	新津駅西口、秋葉区役所前経由
萱野峠入口(玉川)	8:35	8:45	装備準備、集合写真
萱野峠頂上	9:30	9:40	広場なし、視界ゼロ
萱野峠出口(足野水)	10:30	10:40	移動のためバスに乘車
道の駅(おぐに)	10:55	11:05	トイレ
お祭り広場(黒沢)	11:15	12:15	ここまでバス乗車、昼食、集合写真
黒沢峠頂上	13:10	13:15	広場なし、視界ゼロ
黒沢峠出口(市野々)		13:45	
イチョウ公園(市野々)	14:10	14:30	装備脱
荻川駅東口		17:20	区役所、新津駅西口経由

山行等概要(幹事のコメント)

- 昨日は大分悩んで、決行を決定したが、雨の心配はなさそう。
- 装備を整え出発。峠の入口には山菜を取るなど注意看板。下りの坂道は滑りやすい。玉川大橋を渡ると膝まである雑草の道を注意しながら進む。
- 暫く歩くと雑草はなくなり敷石道、夜泣きの松の看板それらしき松はなし、萱野原跡の標識、ここは茶屋があり、旅人の憩いの場所だったとのこと。また萱野峠の名はここから付いたとの話もある。緩い登りの道を進むと、石切場の標識、古道の敷石はここから切り出して敷かれたとのこと。
- 頂上を下り始めると炭焼き小屋跡、黒滝の看板、森の中の小さな滝、また雑草の道注意しながら足野水部落へ。
- 足野水部落からお祭り広場(黒沢)まで30分程バスで移動。
- 昼食を摂り出発。道がきれいに整備されており、気持ちが良い。入口の掲示板には、直江兼続、西郷隆盛など歴史上の人物が歩いたこと



越後米沢街道・黒沢峠入口(黒沢)

が掲示されている。歩き始めると座頭転びの看板、急なカーブなのでさぞかし大変だったと思う。

- 更に緩い敷石道を登っていくと、ブナ林。なかでも檜の木平は、なだらかな所で杭塚（一里塚）もあり「小休止」するには絶好の場所。
- ブナ林を過ぎ見晴らしのよい場所古屋敷跡、ここは天保 10 年頃から伊藤平次郎家族が住み茶屋を営み旅人をもてなし、今は田園。畑跡は藪です。生活用水を山から取り入れた水路の跡が窪みとなって残っている所を説明して頂上へ。
- 頂上では、班毎に写真を撮り黒沢峠出口へと下る。不動出生橋を渡りイチョウ公園には 1 時間程早く到着。蚊に刺されて大変でした。
- 終着地には 1 時間程早く到着。皆さんのお陰で無事終わることが出来ました。ありがとうございました。

「敷石道の萱野峠・黒沢峠」に参加して

(1383)T/K

越後・米沢街道は最近 2 回ほど新聞に掲載され 1 回目は西郷隆盛、2 回目は旅行者のイザベラ・バードお二人の記事を読み興味を覚え参加しました。当日、天気予報は午後から雨となっていたので雨を心配しながらの出発です。

バスが萱野峠入口に着き歩き始める。あまり整備されていないのか雑草の道。登山道脇にとろとろにピンクのつりふね草が咲いている。暫く歩くと敷石の道・夜泣きの松の看板、萱野原跡、石切場の標識を見ながら 1 時間程で萱野峠に到着。途中の萱野原跡には昔は茶屋があり旅人の休憩所だったのでしょう萱野峠の敷石は石切場から切り出され敷かれたとの事。古の人の知力、体力に感心する。

峠で写真撮影をしてから足野水へと下る。急な下り坂、気を配りながら歩くと黒滝の看板、森の中の小さな滝だが静かなせせらぎがとても心地よく癒される。旅人達はここで乾いたのどを潤しほっと一息ついたのでは。萱野峠から足野水集落まで 2 時間程の行程、バスに乗り黒沢峠へと向かう。

黒沢峠の入口に大きな掲示板、新聞に掲載された西郷隆盛、イザベラ・バード、直江兼続、歴史上の人物が歩いたと書いてある。黒沢峠への道はとてもよく手入れが行き届いていて歩きやすい。看板に座頭転び



萱野峠頂上 1班のみなさん



萱野峠頂上 2班のみなさん

とあり急なカーブで転んだら大変だ。暫く歩くと檜の木平でブナの林と苔むした敷石の道がとても美しい。ブナ林を過ぎると古屋敷跡。この場所は天保10年頃から茶屋を営み旅人をもてなした伊藤家の跡地と碑が立てて在り歴史を感じる。

黒沢峠を下り銀杏公園に向かう。この公園は横川ダムができる際、水没した集落の人達が村を忘れないようにとの思いで造られたとの事。村人の先祖は平家の落人との言い伝えがあります。

古の人のすごさを感じながら峠越えができました。雨予報が外れての楽しい歩きでした。ありがとうございました。



萱野峠頂上 3班のみなさん



越後米沢街道
萱野峠入口
玉川



越後米沢街道 黒沢峠

この道多くの方が、荷物を背負って往来し、また荷駄を積んだ馬。秀吉より移封を命ぜられた上杉兼勝、重臣の直江兼続や戊辰戦争では西郷隆盛や薩長を中心にした軍隊。それを迎えた米沢藩士。明治に入るとイギリス人の旅行者イザベラ・バードなどの歴史上の人物が通った峠



黒沢峠（檜の木平）

この一帯はなだらかな所で、苔は一面、ブナや檜の林で新緑の木陰で「小休止」に絶好の場所であった。



黒沢峠（檜の木平）

古の往来を偲ばせる敷石道はブナ、ナラの木の中を縫うように2km、3,600段の石畳が敷かれている